

## 土木系学生会関東地区議事録

(1) 4月30日：九州・関西地区役員との交歓会。  
出席校：早大2，法大2，東大1，千葉工大1，中大3，東海大1，九州大2，大阪工大1，神戸大1，立命館大1。議事としては

### ① 各地区の活動状況

	関東地区	関西地区	九州地区
参加校	15校	6校	6校
会員数	5000名(目標)	700~1000名	800名
会費	年50円	年200円	年100円(入学時)
入会金	—	100円	100円(入学時)

② 土木系学生会の今後の方向：土木学会学術講演連絡委員会委員長 林中央大学教授より土木学会との関係について話していただいた。土木系学生会はそれぞれの地区の立場は違うが、現段階では3地区とも親睦で成り立っている。

③ 第2回全国大会の件：41年8月28日より31日まで国立阿蘇青年の家において第2回全国大会を開催する。参加者155名，会費2500円

(2) 5月19日役員会：新入生歓迎会の後で行なわれた。参加校各大学1名。議事は

① JOINTの件：1号の配布とその報告。班長，副班長および配布責任者の決定。2号の内容につき討議。

② 下久保ダム見学会の件：計画書の配布により23日までに募集。6月12日参加人員100名，参加費1人500円(昼食付)に決定。

(3) 5月23日役員会：出席校は国士館大1，関東学院大学1，芝浦工大3，千葉工大1，中大4，東海大1，東工大2，東洋大2，日大3，法大3，武蔵工大1，早大2名。議事は

① 下久保ダム見学会の件：参加人員確認。

② 東大五月祭・講演会反省：講演会の出席は40名前後，話しの内容は理解しにくかった模様であった。

③ 総会の件：多くの学生がタッチできるように総会を開いてはどうか。総会では全員が集まらないので代議院制にしてはどうか。決議事項がないので総会を開く必要なしという意見も出た。

④ 電子計算機講習会の件：10月頃電子計算機講習会を催す。参加人員は40名。3日間連続で機械はパソコンを使用する。

⑤ その他：6月10日までに会員数2000名を目標とする。6月に行なう予定だった野球大会は会場が無いので秋に延期する。

(4) 6月10日役員会：議事としては

① 電子計算機講習会の件：期日は9月初旬1週間，費用100円，アルゴル語使用，講師として早大大学院の川原睦人氏，人員は40名とする。

② 東大五月祭の反省

③ 会員証の件：会員には会員証を発行しナンバーの書き方はNO. ㉔\_㉕\_㉖とし，㉔は班別で関東学院01，国士館大02，芝浦工大03，千葉工大04，中大05，東海大06，東大07，東工大08，東洋大09，都立大10，日大11，法大12，武蔵工大13，早大14，明星大15，㉕は入会年度，例66，㉖は個人番号。

④ その他：下久保ダム見学会参加者，全国大会参加人員割当，学生会会員数の確認。

(5) 6月22日役員会：出席校は東洋大2，東大1，芝浦工大1，千葉工大2，中大3，東海大2，東工大1，日大2，法大3，武蔵工大1，早大5，国士館大2名。議事は

① 下久保ダム見学会反省。

② 山梨大学参加の件：関東地区に参加する意志ありと連絡があった。遠距離のためわれわれと行動することは不可能に近いので，事務連絡が主になるのではないかとということで認可保留。

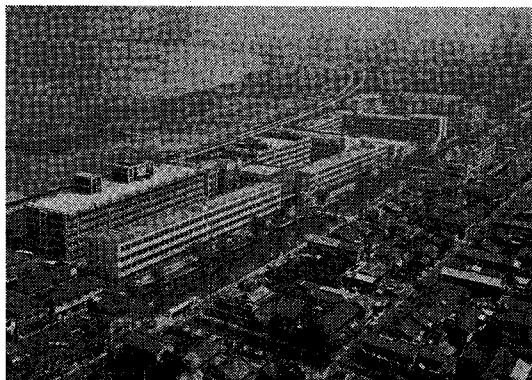
③ 3月ゼミナールの件：セミナーハウス100名程度，1泊2日の予定。

④ 野球大会の件：10月16日，東洋大学工学部グラウンドで開催する。1チーム500円。

⑤ 秋の見学会の件：10月23日5コース250名の予定。会費700円(昼食付)。

⑥ 関東地区大会の件

(6) 9月5日役員会議事



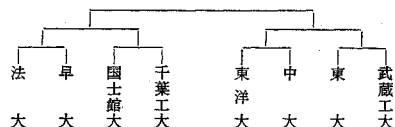
① 見学会の件：第一コース；中央道，第二コース；下久保ダム，第三コース；利根取水場，朝霞浄水場，渡良瀬遊水池，第四コース；金杉橋凍結工法，シールド工法，第五コース；金町浄水場，金町バイパス；東陽町シールド，墨田川河底トンネル。

② 全国大会の反省：土木学生会宣言の採決。中国・四国地区に学生会設立の用意があるようだ。土木学会との関係は現状維持。学会誌学生のページの編集について。

(7) 10月14日：出席校は関東学院大1，千葉工大2，中大2，法大2，日大2，東海大1，早大2，武蔵工大3，東大2，国土館大2，東洋大1名，議事は

① 見学会の件：10月23日の見学会はバスの都合により12月11日に延期。10月末日までに各コーチの決定，ポスターを作る。

② 野球大会の件：組合せ決定



③ 北欧の学生との交流の件：スウェーデン学生の来日，当学生会との交流を計る計画。

④ 土木学会との関係。

れ，このことは学生の質的向上のため，また最高学府としてのため，大いに歓迎されるべきことで欧米の大学のような形態になるものと思われます。そのため，演習・基礎科目・教養科目（特に自然科学・語学）等が重要視され，科目数も減少されることになりました。

土木工学科について若干述べますと，教授陣は，前学長で上水道の宮北教授を筆頭に，橋梁の安宅教授，構造の赤尾教授，衛生の川島教授，都市計画および鉄道の岡部教授，構造の重松教授と多彩であり，助教授は，土木材料・測量の児玉，橋梁の佐木，水理の久保，河川の黒沢，構造の岡村の各助教授陣が控え，また講師は木原，松井，鶴飼，福田，西川の各講師が顔を並べています。現在，上下水・衛生関係が最も充実していて，関西では京大につぐ設備とスタッフを抱えています。しかし不思議なことに，卒研究生は最も少ないようです。最も多いのは水理・土材といった方面です。最も学生が落ちる学科は水理関係で，半数以上落ちているようです。大体において科目内容はことさら異なった物は無いでしょう。

われわれ学生のグループとして土木文化研究部，通称土文研があり，部員数150名程度で班として，道路，鉄道，測量，都市計画，水理，衛生，土質等の班があり，おのおの独自のユニークな研究活動を行なっています。部として毎年見学旅行を行なっています。40年度は，東京のオリンピック施設，新清水トンネル，黒四と3泊4日，41年度は関門トンネル，若戸大橋，西海橋，天草架橋，九州横断道路等の見学と非常に活発なもので，測量班は夏休みを利用し，長野県まで遠征しました。簡単な見学会として年に10回ぐらい，大阪市内，大阪市近郊，万国博施設等を見学し，映画会，教授を囲む会，ゼミ等を主催し，11月の大学祭にはこれらを集大成し，展示会を行なっています。工大の学生の一般的気質として，楽天的といえるでしょう。しかし，消極的な面も無いでもありません。われわれとしては私立大学の特長を十分發揮してゆきたいと思っております。

所在地：大阪市旭区大宮北文町1丁目 158

## 大学めぐり／大阪工業大学の巻

わが大阪工業大学は写真でもわかるとおり，古く詩歌に唱われ日本の歴史を含み，市民の憩の場たる大阪の母なる川，淀川の辺りにあり，遠く東を眺むれば生駒の山々を，西には六甲，南には大阪城，また北には近代科学の粋を集めたわれわれ土木を志す者の誇たる新幹線を朝に夕に眺めることができ，休み時間には淀川をグラウンドにして憩うこともできるのです。

大阪工業大学は大正11年関西工学専修学校として創設されて以来，45年の歴史を誇り，中でも土木工学科は創立以来の伝統を持ち，そのため，学内でも最も恵まれた設備と教授陣を保持しています。現在，土木・建築・機械・電気・電子・工業経営・応用化学の7学科を有し，一昨年から大学院（修士課程）を設置するに至り，大学院大学として一步一步前進を続けています。しかしながら学生数は第一工学部だけで6000余名を数え，土木工学科だけで900余名を有し，正にマスプロ教育の最たるものです。最近，工大においても履修制限が強化さ

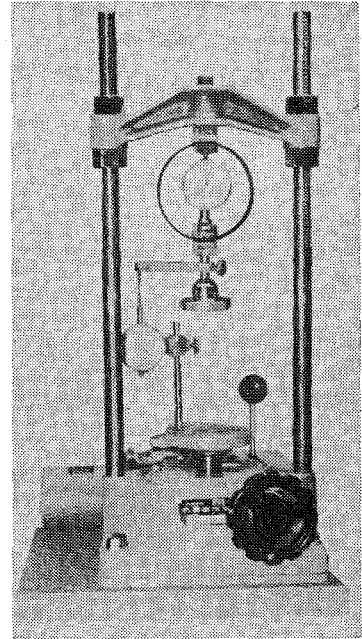
## 電動式単純圧縮試験機 SG-33

本装置は運研港湾型の手動式単純圧縮装置に無段変速式の電動ユニットを追加装備したもので、従来の電動式のものにくらべて、一段と小型軽量化されており、試験室に於ける試験、又現場に携行しての試験にも適した装置となっています。

圧縮荷重はウォーム・ギヤー機構のハンドル軸を電動で回転して、下方より任意の歪速度で加えることができ、その力量は正確なブルーピング・リングによって計測されます。

電動駆動装置は小型電動機と変速機を一体としたものでツマミの操作により载荷速度を広範囲、任意に変速することができます。

本機を電源の無い現場等で使用する場合には、二本柱式の载荷枠部(軽合金製)のみを切り離して携行し、手動によって荷重を加えて試験を行なうこともできます。



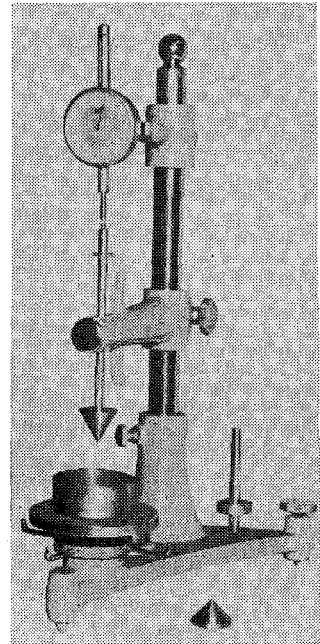
SG-33

## フォール・コーン式液性限界測定装置 SF-75

ある重量の円錐状オモリを土の上に自由落下させて、その貫入量によって試料の液性限界(LL)を決定しようという方法は古くからスエーデンで行なわれ、またキャサグラントによっても提唱されていますが、本装置はこれに北海道大学の北郷先生の御考案を参考にして、この試験に最も適した試験器として新たに設計されたものです。

仕 様

1. 貫入コーン：先端角度 $90^\circ$ 、 $60^\circ$ の2種  
重 量 60gr、100grの2段調節
2. 試料容器：内法寸法 60mm $\phi$ ×25mm、金属製
3. 貫入量測定器：ダイヤル・ゲージ 1/100mm×30mm  
スピンドル・ストッパー付
4. 支持・解放装置：一本支柱型、押釦即時解放固定具装備



SF-75

### 営業品目

土質試験機  
コンクリート試験機  
アスファルト試験機  
万能・圧縮材料試験機  
マルト・リング(力計)

### 株 式 会 社

# 丸 東 製 作 所

本 社 東京都江東区深川白河町2の7 電話 東京(642)5121(代表)  
京 都 出 張 所 京都市中京区壬生西土居の内町3番地の1 電話 京都(84)7992  
北 海 道 出 張 所 札幌市南十条西十三丁目970番地 電話 札幌(56)1409